

総会無事終了 新体制でスタートしました

6月3日の総会は出席者82名、委任状等179名でした。会員総数342名の過半数を満たしましたので、総会は無事成立しました。提案された4つの議案はすべて了承され、新会長に黒川昭さんが就任しました。

黒川さんのモットーは「とにかく楽しむ！」。一人一人が楽しむ、仲間と一緒に楽しむ……。地域の中でつながり、楽しもうと計画を練っています。役員任期は2年間。16人の理事と相談役で楽友会を引っ張っていきます。ご協力を宜しくお願いいたします。

総会終了後には、お楽しみのマンドリンコンサートと同窓会20年の歩みの鑑賞、そして交流パーティー。所沢マンドリンクラブの演奏は指揮の方の絶妙なトークで進行……。「二人でお酒を」から始まり、アンコール曲の「ふるさと」まで全9曲。演奏の間には、マンドリンの楽器説明もしていただきました。

コンサートの途中で休憩タイム。ビールならぬ発泡酒や缶チューハイ、ジュース、コーヒーなどと一緒に、軽いおつまみ、お菓子が振舞われました。「淹れたてコーヒーをどうぞ」「冷えたビールある？」の声も聞こえます。会場は一気に和やかになり、そこそこで話の輪ができてきました。やはり、実際に顔を合わせて話せる嬉しさは格別です。このままコロナの収まることを願います。



小谷野市長挨拶 右は来賓の小山学長 左は中嶋元会長



黒川新会長挨拶



マンドリンの美しい調べに 皆うっとり。 こんなに間近で鑑賞できるなんて……。



楽器説明する指揮者



飲み物と食べ物を楽しみながら鑑賞



懐かしい顔に話はずみず

● 悦楽の人生 ●

※ 写真は歓送迎会であいさつする中嶋元会長



要職を辞する寂しさも、表紙を変えれば遊戯として悦楽の境地に入る。周囲からの情報は遠くなり、乱暴に暮らせば簡単に仲間との崩壊状態に誘引されてしまいそう。常にプラス思考でピリオドを打つには、新たな拠点を求めて歩き回る手段に訴えるしか方法がない。周囲の環境や、どのような仲間の集合体なのか気を使うところだが、遊び欠乏症状から脱するために、こまめに気安い仲間の調達に専念する。軽薄な仲間を求めるのは簡単だが、お互いが我儘な年代だけに身も凍る事態が起こりえる。寂しさに耐えるために始めた早朝ウォーキング。下り坂は、八十路を過ぎた急降下の爺様の肉体を老いから救ってくれる。あえて豊かな頭脳の持ち主は望まないが、常に楽しくて負荷を与えない老友を求めて徘徊している。どっこい逞しく生きることも心得ている。 (令和4年5月 中嶋とおる)

※ 今年も福田さんから開花情報が寄せられました。

自生ヤマユリ、もうすぐ開花!



ヤマユリの変種口紅ヤマユリ
(滅多に見られません)

里山の宝石「自生ヤマユリ」。市営稲荷山公園緑地保全地区に開花します。見頃は7月上旬後半から中旬後半頃の見込みです。

ヤマユリは日本の固有種で、かつては日本国中の山林で普通に見ることができましたが、山林の荒廃、土地開発、乱獲、獣害(大好物)などにより激減してしまいました。6年前にこの地がヤマユリ成育にとって最良の土壌・環境である事が分かり、ヤマユリが成育し易いように整備、再生活動を行ってきた結果、毎年株数が増えて自生ヤマユリの群生が身近に見られるようになりました。初夏に咲く大輪の花は20cm以上にもなり、甘い香りを漂わせます。野性的な中にも美しく迫力ある自生ヤマユリの群生が7月には開花します。ぜひ観賞にお出でください。

また、市営稲荷山公園の見晴台は狭山市で一番高い標高で、西には大菩薩嶺(東京都)や雲取山、北には赤城山・谷川岳・日光白根山・男体山に繋がる峰々など、晴らしい展望が開けている場所です。



市長も3年続けて来訪

報道機関ではNHKが3年連続で放送してくれました(昨年はコロナで中止)。他に東京新聞、毎日新聞、埼玉新聞、狭山ケーブルテレビ、テレビ埼玉等では四季折々(カタクリ・ヤマツツジ・ヤマユリ)に報道して頂いております。

連絡先: 稲荷山・山ゆりの会 福田朝男

電話 04-2954-7612 携帯電話 080-1186-8355

メール fuchan1subaru2@outlook.jp

§ 鈴木強さんから皆さんへのお知らせ §

会員の皆様、「狂言入間川を観る会」の鈴木です。会では人間国宝四世山本東次郎を当主とする、大蔵流狂言山本会の皆さんによる、年一度の狂言鑑賞会、狂言講演会(事前学習会)、小学校での、言教室などを行っています。この度山本家より、下記の案内がありましたのでご紹介いたします。今回、東次郎師が演じる『月見座頭』は、私が最も感激した曲目の一つです。是非、人間国宝の至芸をお楽しみください。

NHK Eテレ「古典芸能への招待」 6月26日(日) 午後9時~11時

狂言『月見座頭』 山本東次郎・山本則俊

小舞「通円」山本東次郎 地謡 山本則俊・山本泰太郎・山本則重・山本則秀

山本東次郎のインタビュー → 後半は、野村万作の「釣り狐」 これも必見!